

田上町 議会だより

第83号

■平成22年1月22日 発行



▲ 飛 翔(後藤地内にて)

新年のあいさつ	2P
12月定例会	3P
第7回・第8回臨時会・決議案・請願・陳情	4～5P
一般質問	6～12P
常任委員会付託案件審査報告・一部事務組合報告	13～14P
常任委員会視察研修報告	15P
議員活動あれこれ・編集後記	16P

迎春



▲新春の護摩堂山



新年のあいさつ

議長 小池 真二郎

あけましておめでとうございます

皆様には健やかに平成22年の新春を迎え

謹んでお慶び申し上げます。

今日の日本経済は、税収の落ち込みとデフレスパイラルになり、国・地域経済は深刻度を増しています。

このような状況下で、政権交代が起き、鳩山政権が誕生し国民的支持の内閣として、国民主体の政治、地域主権型社会を実現することに期待をします。

町民の皆さんの協力により危機的財政から脱却でき、竹の友幼稚園が4月に開園、大沢水系の改善計画に着手など、議会と執行が町民のための施策を実施することは評価したいと思います。

町民の付託を受けた議会議員として、輝くまちづくりのために責任と自覚を高揚して、本年も活動する決意であります。

町民の皆様にはかわらぬ御指導をお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます

小野澤 健吉

吉田 昭一

児玉 輝男

坪谷 久雄

塚野 一二三

小池 真一郎

熊倉 良平

斎藤 勲

泉田 壽一

関根 一義

池井 豊

渡邊 正策

川口 與志郎

中野 和美

(議席順)

月定例会

12月14日～18日

地域活性化・経済危機対策臨時交付金による

田上中学校武道場建築

本体工事請負契約決定



▲12月定例会初日

12月定例会の経過

本定例会は、平成21年12月14日から18日の5日間開かれた。

初日、諸般の報告、人事案件上程、議案の上程に続いて3名の一般質問が行われた。

第2日目

4名の一般質問

第3日目

総務産経常任委員会

付託案件審査

第4日目

社会文教常任委員会

付託案件審査

最終日は各常任委員会の報告がされ、議案の採決が行われた。

初日 本会議

会期の決定

一部事務組合議会報告

○人事案件 同意

田上町固定資産評価審査

委員会 委員

渡辺 幸子 氏

最終日 本会議

最終日の18日には議案の採決が行われ10議案全て可決された。請願2件は不採択となった。決議案は可決された。

《提出された議案》

議第2号 指定金融機関の設置について

議第3号 田上町介護保険条例の二部改正について

議第4号 田上町後期高齢者医療に関する条例の二部改正について

議第5号 田上中学校武道場建築本体工事請負契約について

議第6号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第7号)議定について

議第7号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)議定について

議第8号 同年度田上町老人保健特別会計補正予算(第1号)議定について

議第9号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第2号)議定について

議第10号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第8号)議定について

第7回臨時会

期日11月24日(火)

総務産経常任委員会審査報告

専決処分

◇議第1号 専決処分(平成21年度田上町一般会計補正予算(第5号))の報告について中

第1表 歳入 承認

質疑

●県より新型インフルエンザワクチン接種助成費臨時補助金として31万4千円の受け入れと繰越金103万6千円を補正するもの。

条例の一部改正

◇議第2号 田上町職員の給与に関する条例等の一部改正について

◇議第3号 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

◇議第4号 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

◇議第5号 田上町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について

◇議第6号 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

いずれも原案可決

質疑

●議第2・3・4・5・6号に共通する改正
 ●21年12月の期末手当の支給基準日が12月1日の為に今臨時議会に提案するもの
 ●期末手当の6月支給が基礎額の100分の140で変わらず、12月支給が100分の160から100分の150に変わるもの
 再任用職員は6月支給で100

分の75は変わらず、12月支給で100分の85から100分の80に変わるもの他、勤勉手当、住居手当等を条例改正するもの。

分の75は変わらず、12月支給で100分の85から100分の80に変わるもの他、勤勉手当、住居手当等を条例改正するもの。

契約

◇議第7号 教育用及び教職員用パソコンシステム一式購入契約について

原案可決

補正予算

◇議第8号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第6号)議定について中

第1表 歳入

1款 議会費

2款 総務費(1項、5項)

5款 労働費

6款 農林水産業費

7款 商工費

8款 土木費

いずれも原案可決
 委員長 泉田 壽一

(第2号)議定について

◇議第11号 同年度田上町水道事業会計補正予算(第1号)議定について

いずれも原案可決



▲臨時会での起立採決

社会文教常任委員会審査報告

専決処分

◇議第1号 専決処分(平成21年度田上町一般会計補正予算(第5号))の報告について中

第1表 歳出

この議案は生活保護世帯及び町民税非課税世帯のうち、高校生以下や高齢者や妊婦などを

12月定例会

議員発議による決議案

決議案番号	件名	提出議員	議決結果	要請書提出先
決議案第2号	救急患者搬送の適切な対応を求める要請決議	平吉男義郎 良健輝一志 倉野玉根 熊小児関川	原案可決	加茂市・田上町消防衛生組合管理者

請願

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	審査結果
請願第8号	後期高齢者医療制度のすみやかな廃止の意見書を国に提出することを求める請願	新潟市中央区万代3-4-12 新潟県社会保障推進協議会 会長 坪谷 誠	不採択
請願第9号	EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願	新潟市北区葛塚3346 農民運動新潟県連合会 代表 町田 擴	不採択

陳情

番号	件名	陳情者
陳情第4号	地域間格差を拡大する「地方移譲」に反対し、信濃川水系信濃川の直轄継続と事業促進を求める要請書	新潟市中央区文京町14-13 国土交通省全建設労働組合北陸地方本部 支部長 桶間 諭

いずれも原案可決

委員長 斎藤 勲

第8回臨時会

期日12月24日(木)

補正予算

◇議第8号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第6号)議定について中

第1表 歳出の内

2款 総務費(2項、3項)

3款 民生費

4款 衛生費

10款 教育費

この議案は主に人事院勧告により職員の給与の減額に伴う減額補正するもの。

また中学校脇に武道場を建設するために1億2千638万1千円が追加提案されたもの。

◇議第10号 平成21年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)議定について

この議案は、人事院勧告により職員給与の減額に伴い532千円減額補正するもの。

◇議第1号 幼児園建設建築本体工事変更請負契約について

◇議第2号 幼児園建設電気設備工事変更請負契約について

◇議第3号 幼児園建設機械設備工事変更請負契約について

◇議第4号 幼児園建設外構工事変更請負契約について

いずれも原案可決

竹の友幼児園の入園応募が定員数を上回った為に2歳児保育室を設ける工事変更が必要で議会議決を要するもの。

質疑

この議案は、人事院勧告により職員給与の減額に伴い532千円減額補正するもの。



池井 豊 議員

田上町長として、田上住民だけでなく加茂地域消防本部が救急搬送する場合応急診療所への搬送も選択できるように求めていくのか？

田上町長として、加茂市にも負担を求めていくのか？



川口 與志郎 議員

大沢水系 水道水硬度 改善を

問 大沢水系の水道を使用している町民は、長い間硬度の高い水道水のために悩ませられてきました。町当局も議会も何とか解決の方法を探ってきました。

町長 前回の9月定例会においてもこのことが焦点になり、議会全体としてこの問題での解決の必要性が確認されました。これは大工事ですので、お金も時間も掛かるものと思われます。

町長はこの問題の解決に前向きに対処すると表明していますが見解を伺います。

町長 現段階では平成22年度より4年間で施設整備に取り

応急診療所 について

問 平成21年4月に県医師会会応急診療所がオープンしました。(田上町ほか県中市町村は負担金を払い、加茂市だけが参加していない現状があります)

応急診療所の利用は10月末で加茂市から550人、田上町から212人となっていますが、救急搬送はまったく無いとのことですので、せめて、田上の住民だけでも応急診療所に搬送させるべきです。

田上町長として、田上住民だけでなく加茂地域消防本部が救急搬送する場合応急診療所への搬送も選択できるように求めていくのか？

田上町長として、加茂市にも負担を求めていくのか？



▲応急診療所

町長 管理者(加茂市長)に事実確認も含めまして、町民の要請があれば当然搬送すべきであるということ伝えて、必ず搬送できるように話をしていきます。

この施設を開くに当たっては三条市長が中心になって各市町村への要請に歩いたわけで、加茂市長に加入いただくように伝えております。

改めて三条市長に伝えて、加茂市から参加いただくようお願いしていきたいと思っております。

相対的 貧困率に ついて

組んで参りたいと考えております。新年度予算に計画を盛り込む予定でございます。

問 10月20日厚生労働省は日本の「相対的貧困率」のデータを公表しました。

それによりますと日本の「相対的貧困率」19年度15.7%、一人親世帯では54.3%とのこと。長妻厚労大臣は公表にあたって「最低限の生活限度の指標・哲学・基準をもう少し明確に定める」と述べています。

所得から税金などを差し引いた所得が一人当たり年収114万円未満の6人に1人が貧困ということになります。

田上町も同じような実態と考えられますので、町長の見解を伺います。

高い 国民健康 保険税

町長 この数値には資産が考慮されていませんので、住民の皆さんも16.7%の人が貧困だと実感している状況ではないと思っております。従いまして、町が今すぐ対策を講ずることは、想定しておりません。

問 社会保障推進協議会の計算によりますと、モデル世帯、所得200万円、40歳代夫婦、固定資産5万円、子ども2人の4人家族の国保税は年額37万5千円、月額では3万1千500円になります。

この数字は県内市町村のワースト4です。ベスト1は津南町で、年額23万7千600円です。田上とは13万円以上の差があります。田上の保険税は家庭のかなりの負担になっているとい

農商工連携 について

問 各地で農商工連携がすすめられています。各課横断で田上町を売り出すセクションの設置はできないか？

田上町長として農商工連携をどのように捉えているか？

町長 町の特産品を使って、田上ブランドが作れないかということとあります。それらの商品を直売所で販売したり、町外にもアンテナを拡大していけるように考えております。

大学を活用した まちづくり について

問 この度、教育委員会・公民館・保健福祉課と新潟経営大学の連携で「メタポ対策トレーニング教室」が開催されました。田上町の事業としては画期的なものだったと思えます。

今後大学と連携した事業展開をどのように考えていくのか？

教育長 地方大学は、地域のインテリジェントセンター的な役割を担うことが期待されており、今後は町との連携のパイプを太くし、双方で知恵を出しながら事業化の拡大に向け取り組んでいきたいと考えております。

わなければなりません。このことでの町長の見解を伺います。

町長 今年、国保税を値上げしましたが、実は国保の会計が破綻しそうになり、慌ててそのような措置をしたということでございます。健全運営をするために、基金は1億円くらい必要です。それが4千万円くらいという大変な状況になっております。やむを得ず値上げしたことをご理解ください。



▲中店保育所のおたのしみ会

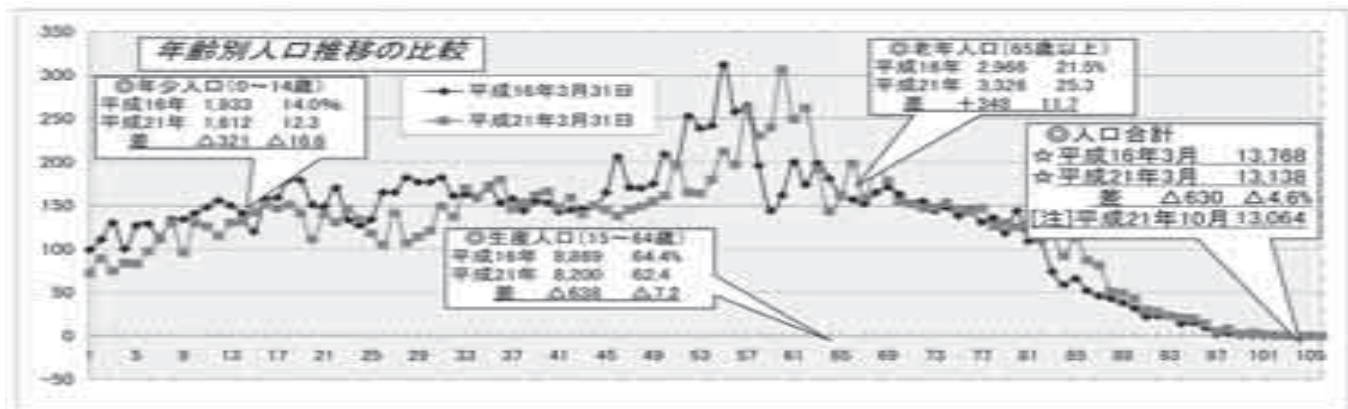


渡邊 正策 議員



斎藤 勲 議員

一般質問



町の小・中学校 30人以上の学級の対応について

問 羽生田小の3年生、田上中1年生が1クラス38人のクラスになっています。国の「地域雇用創出促進費」などを活用して、取りあえず羽生田小学校の3年生を35人以下のクラスにできませんか。

教育長 自治体が独自にクラス編成をすると、町に財政が豊かだと県に判断されて加配の教員が来なくなる可能性があり、実施は考えません。

幼児園の保育料の再考 送迎バスはシートベルト設置で2歳児も

問 視察に行った余呉町と粟東市の幼児園は幼稚園教育は短時部があり、幼稚園並みの料金です。田上町もできませんか。

町長 すでに新しい保育料金で募集しました。運営していく段階で関係者の声を聞いて見直し等を検討します。

問 余呉町は送迎バスにシートベルトを設置して、2歳児もバスで送迎しています。田上町もできませんか。

町長 現段階では考えていません。2歳児が満3歳になればバスには乗れるようになります。

少子化対策について

問 私は人口増加、少子化対策を行政として取組み、田上町への定住・定着推進を図り、未来に希望の持てる町づくりを提案して参りました。田上町の人口が1万3千人を割込む現実を見れば、行政が施策を示さなければならぬと考えます。

町の資産を宅地化、且つ税制面での優遇措置をとる施策は、いまの田上町の財政状況なら可能と思います。新幼児園のPR、また政府税調も若い世代が、住宅建築、住宅購入をやりやすくする為、親からの支援に期待を寄せ、贈与税の非課税枠拡大を追加経済対策に取組む事を検討しています。こうした国の施策も取りいれ、町づくりができないものか伺います。

あじさいまつり 30周年の総括は

問 今年はあじさいまつり30周年ですが、その資料を保管していますか。また、今までの反省と今後の方針はありますか。

町長 町としては、特別に保管していません。また、今後の方針は特別考えていません。



▲ 大勢の子供たちが訪れる護摩堂山

町長 来年4月開園を目指している竹の友幼児園の幼児保育、あるいは教育環境は改善されます。

政権交代により、少子化対策につきましてもいろいろ検討されておりますので、今後国の方針などを見極めながら、田上独自の対策を検討してまいります。

田上町は平成3年の段階で人口1万5千人を目標に宅地造成をしてまいりました。その後田上駅裏に民間の方が宅地造成しておりますので、いま田上町で最も有望視されているのは田上の駅裏であろうと思っております。

R403号バイパスが整備されれば、そういうことも加速度的に整備されるだろうし、このR403号バイパス工事も予想より早く進むと思います。最近県の対応も大変進んでおりますので、本田上工業団地の企業誘致を、来年度は急ピッチで進める必要があるというところであります。

問 アジサイが手入れされず、枯れた箇所もあり、管理に問題がありませんか。

町長 アジサイは陽あたりの良い場所を好み生育が難しい面があります。

問 護摩堂山頂のトイレは旧日本式で子供が怖がつて使いたがりません。

改善できませんか。

また登山口の駐車場を増やす考えはありますか。

町長 水量と経費の問題があり当分は清掃と簡易トイレで対応します。駐車場を増やす考えは現在ありません。

問 今後のあじさいまつりは全町内の観光資源を活用して広い取り組みができませんか。

町長 提案に感謝します。町としても現在「大人の遠足の町」として、町内を回れるようなプランを考えています。

次期町長選立候補にかける意気込みについて

問 町長は県の道路整備協会長、全国の副会長の要職についておられますが、次期町長選立候補にかける意気込みについて伺います。

町長 早くR403号バイパスを整備し、本田上工業団地に企業誘致をすることが必須です。その事が人口増加にもつながるので急ぐべきだ、ということであります。

私は幸いにして、国・県への話し合いができる立場ですので、できるだけ急いでバイパス整備を推進していきます。

今1つは、人づくりです。特に12カ年教育を強力に押し進めてまいります。



関根 一義 議員

第五次総合計画の策定に
ついで

問 第4次総合計画が22年度をもって終了する。その評価をどのように行うか。

次期総合計画は中期構想と位置付け、まちづくり財政計画との整合性を図るべきだ。

広域行政の推進の基本的方向性を持つべきだ。

町長 春から秋にかけて、第4次総合計画の評価などの総括を行う。一方、町づくりに関連する住民アンケート調査や各種団体の意向調査も行う。

町の現況と課題も含めた基礎調査・分析をふまえ平成23年度から32年度に及ぶ町づくりの指針を策定し、この基本構想を実現する「前期5年の基本計画」を作成し審議会の審議をお願いする。

財政健全化策の
総括とまちづくり
財政計画について

問 財政健全化施策による財政状況をどのように認識しているか。

実施項目の個別検証に基づく再見直しを行うべきだ。

町長 平成16年度からの5年間で累積13億円程度の財源効果があった。しかし18億円の交付税の減額で町財政は決して好転したわけではないと認識している。財政健全化施策については今暫く継続する。

施策の再見直しが必要との指摘もあるが常に的確な財政見直しによる見直しが必要である。

町民参画の
協働まちづくり
について

問 新たな活力を取り入れるためコーディネーターの人材を活用し、プロジェクト活動の事業化を目指すべきだ。

町づくり財政計画への位置付けを明確にすべきだ。

町長 まちづくり検討委員会

は引き続き協力を願う。現在予定している事業化の基

本は、各団体の事業を二本の線で結び、横の連携が図れないか検討している。

具体的な例としては、「大人の遠足の町」事業にしようとして

いる。交流人口増、町の活性化に結び付けたい。

これらのまちづくり事業が軌道に乗って、主要事業として位

平成22年度
予算編成の
基本方針について

置づけができれば「まちづくり財政計画」に乗せたい。

問 来年度予算編成期に入

った、町長の基本方針を明らかにされたい。

町長 基本姿勢はこれまでと同様であるが、町の活性化、町民のニーズの多様化を考慮し緊急性、必要性の高い事業を重点的に実施する。

また既存の制度・施策の徹底の見直し、休止、廃止を伴う事務事業の改廃・簡素化を図る。さらに財政健全化項目は予算に反映させ、新たなまちづくり事業を図る。

22年度から設計に着手をして、できるだけ早い時期に設置できるように努力してまいりたいと思っております。

末端自治の
振興について

問 敬老会は一部の集落に対応出来ない所もありますが大方定着をされ、子供たちの下校時の対応・自主防災組織について

も町の要請に応じて組織化されつつあるので、一層の自治の振興を図ることからして町から1千万円位を支出して、会計を持つ行政区に対して助成をすることが出来ないか。

町長 10月1日の町における自治防災組織の結成状況は6地区であり、今年度末には2地区が結成の予定で、合わせて44.1%になる予定であります。町としては自主防災連絡協議会（仮）を発足させて体制の強化を図るための会議・研修などを実施していく計画になっております。

訂正のお詫び

「田上町議会だより」第82号の一般質問の掲載中、農業委員定数削減問題の際、町長答弁の中で、「理事」を「会長」と「理事会」を「特別委員会」と訂正させて頂きます。

一 般 質 問

学校トイレの
環境整備
について

問 取り巻く社会的・家庭的な生活環境の変化によって、学校におけるトイレの機器等が、和式か洋式かと問題になっている報道もありますが、町の全校のトイレを洋式にすることが出来ないだろうか伺います。

教育長 近年、生活様式の変化は著しく、トイレの洋式化もその一例と考えております。町といたしましても、変化に対応するため年次計画で洋式トイレの整備を検討していきたいと考えております。

大沢水系の
対応について

問 現状の認識は一致しているのか、どう具体的に対応するのか、予算づけをいつからやるのか伺います。

町長 現段階では、平成22年度から4年間で施設整備に取り組み予定で考えております。

事業実施に当たりましては、実施計画や水道事業経営変更認可申請などの計画や許認可事務に関する事で時間が必要であるので、工事についても、土木工事の他に電気設備、機械設備等が中心でありますので、一般的な土木工事とは異なっております。

現段階では最短でも4年程度の期間が必要であります。



一般質問



中野 和美 議員

町内のイルミネーションを 観光スポットにできませんか

問 田上町のイルミネーションが話題になっています。新たな「観光スポット」として、まちづくり・活性化に繋がるものと受け止め、参加者への支援や商工会との連動を働きかけるなど、バックアップ体制を図ってはいかがでしょうか。

町長 実態がどのようなものかどうかも含めて、調査研究する必要があると思われまますので、もう少し推移を見守りたいと思っております。

男女共同参画 について

問 意識改革の動きである「男女共同参画」の取り組みは十年も前から法律化されています。田上町では役職の女性比率が極端に少ないのではないのでしょうか。

まちづくり委員会や協議会・理事会などの委員の構成や男女数に偏りはありませんか。田上町でももっと前向きに取り組む時が来たのではないのでしょうか。

町長 町職員の役職の女性比率は現実の組織として、事務処理能力や適材適所が優先された結果です。すべてが同等扱いにはいかないのが実態ですが、適任

中学校教諭の 処遇改善 について

者を育てるといふ努力は続けてまいりたいと思います。さまざまな会の男女比は、なかなか同数まではいかないのが現実ですが、今後努力して、女性の参画をお願いしていきたいと思っています。

問 中学校教諭の仕事量が昔に比べて、かなりの量となっており、教育以外の様々な作業も多くなっています。

中学校教諭の仕事から部活動を分離して、教育に専念していただくことは考えられますか。

教育長 少子化・教員定数削減の中、部活動をいかに活性化

するかは喫緊の課題です。今や各学校において完結的対応が困難な状況です。そこで発想を転換し、小中3校の垣根を取り払い、指導者のいる学校に出かけて部活動等ができないか、現在3校の校長先生に投げかけているところです。

準備会を立ち上げております。総合型地域スポーツクラブの活用も視野に入れ、部活動の活性化と先生方の負担軽減に向けて、多角的に検討を進めていくところです。



▲ 町内のイルミネーション

常任付託案件審査報告

総務産経常任委員会

質疑

社会文教常任委員会

〈12月16日〉

〈12月17日〉

● 県より防災情報通信設備整備事業補助金として425万9千円を受け入れて全国瞬時警報システムを整備するもの

● 消防庁より人工衛星を使って全国自治体への同時告知システム

◇議第5号 田上中学校武道場建築本体工事請負契約について

◇議第6号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第7号)議定について中

● ミサイル攻撃や大地震等の緊急通信は自治体へ瞬時に入っても町民への告知手段に問題がある。

第1表 歳 入

第1表 歳出の内

2款 総務費(1項)

5款 労働費

6款 農林水産業費

7款 商工費

8款 土木費

9款 消防費

◇議第10号 同年度田上町一般会計補正予算(第8号)議定について中

第1表 歳 入

いずれも原案可決

● 曾根第1号揚水機修繕事業は田上郷土地改良が事業主体となり工事費の10%(120万8千円)を補助するもの

● 原ヶ崎運動広場駐車場整備工事として34台分と通路を136万5千円で整備するもの。

◇議第2号 指定金融機関の設置について

町の指定金融機関を協栄信用組合から加茂信用金庫に変更するもの。

原案可決

◇議第3号 田上町介護保険条例の一部改正について

◇議第4号 田上町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

両議案とも、現在の経済状況に鑑み、延滞金の納付期間を1ヶ月から3ヶ月に延長するもの。

いずれも原案可決

◇議第6号 平成21年度田上町一般会計補正予算(第7号)議定について中

第1表 歳出の内

2款 総務費(2項)

3款 民生費
4款 衛生費
10款 教育費

介護サービス委託料100万円の追加補正は要支援認定者が47名から67名になったことによるもの。

子育て応援特別手当交付金事業費1千165万4千円の減額は、政府の方針で執行を停止するもの。

児童福祉施設整備事業587万円の追加補正は歩道や側溝、8台駐車可能にするために舗装するもの。

地域活性化対策費1千611万円の追加補正するもので、竹の友幼稚園の園庭を107台駐車可能とするため。

羽生田小学校の要保護・準要保護児童援助費46万7千円の追加補正は対象者が17名から28名になるため。

〈次ページへ〉

田上中学校の要保護・準要保護費を30万8千円の追加補正は、対象者は18名から21名となる。

◇議第7号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)議定について

主に医療費・高額医療費の増加などで追加補正するもの。

◇議第8号 同年度田上町老人保健特別会計補正予算(第1号)議定について

国・県などに平成21年度の額の確定により340万円の返還する。

◇議第9号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第2号)議定について

特養に2名入所するの
で、495万1千円の減額。

介護予防サービスに800万円追加することなど。

◇議第10号 同年度田上町一般会計補正予算(第8号)

議定について

竹の友幼児園の2歳児の入園希望者が定員より多数で、仕切りの工事、遊戯室の床をビニールからフローリングに変更するなどで997万3千円の追加補正するもの。

いずれも原案可決



▲ 急ピッチに進む竹の友幼児園

一部事務組合報告

新潟県中越福祉事務組合
議会

三条・燕・西蒲・南蒲広域養
護老人ホーム施設組合議会

第2回定例会

期日 平成21年10月28日
場所 見附市まごころ学園

期日 平成21年11月20日
場所 三条市役所

☆平成20年度決算の認定
について

〈歳入〉2億3千265万5千円

〈歳出〉2億2千643万円

〈差引残額〉622万4千円

《受託事業収入の予算減額》
318万2千円については、入

所者が死亡された後の入所者数100名に満たされるまでの空白があるためのもの。

☆平成20年度新潟県中越福祉事務組合歳入歳出決算の認定について

〈歳入〉3億9千693万2千754円

〈歳出〉3億8千660万5千477円

〈差引残額〉1千32万7千277円

会議後見附市内の障害者地域生活支援センターを全議員で視察。

組合議員 塚野二三

組合議員 川口與志郎

常任委員会視察研修報告

総務産経

期日 10月6日～7日

視察先及び研修内容

- 新潟県上越地域振興局
妙高砂防事務所管内
- 長野県山ノ内町管内
- 長野県飯山市管内
派遣委員 7名

- 防災事業の一環である砂防ダムの見聞
 - 自立の為にマスタープラン
 - 新エネルギービジョン
 - 交流人口拡大を図るグリーンツーリズム等
- 田上町が推進している安心安全の町造りの為に、妙高市にある万内川砂防ダムと八代川の鋼製スリットダムの現状と経過を視察研修しました。
- 万内川は1.2キロの流れに高低差340メートルという山岳地

帯の裾野に集落がある環境でした。スリットダムはコンクリートダムと比較して建設費が20～30%割高との事です。

山ノ内町は中野市を中心とした4市町村合併協議を離脱(平成15年に実施した住民投票を受けて)した。湯田中温泉を始めとした温泉郷で観光を基盤としています。観光光入込客数は平成2年985万人から15年には580万人、20年には480万人と激減した結果、町税は34億超から21億に落ち込み収入未済額は10億にもなる為に財政運営に大変苦労しているとの事です。温泉が豊富の為に20年4月開園した総合保育園の温泉プールと床暖房の熱源として利用しています。

飯山市は人口4万人台から2万人台に激減している現状を打開する為に、なべくら高原の農地開発を利用してコテージ10棟と管理棟を16億

(過疎債対応90%)かけて建設しました。自然の良さを感じ、結果として飯山市に移住してもらいたいとの事業です。

委員長 泉田 壽一

社会文教

期日 10月15～17日

視察先及び研修内容

- 滋賀県余呉町「余呉幼稚園」
- 「栗東市」金勝幼稚園
- 「東近江市」あいとうエコプラザ菜の花館
- 長野県松本市「株ダイバイザー」
派遣委員 5名

今回の視察の目的は竹の友幼稚園開設にあたり、当委員会として参考にし、より良い施設と運営ができるようにしたいため、特に参考になったのは、保育料金と送迎バスでした。

余呉町と栗東市も幼稚園であるが幼稚園教育は両園とも短時部があり、料金は食

費などを合わせても1万円位でありました。

また余呉町では送迎バスにシートベルトがあり、2歳児もバスで送迎していました。

また「菜の花館」では廃油を利用して年間3万リットルもBDFを作成していました。また建物の屋根は太陽光発電のパネルが設置されていました。

松本市の「株ダイバイザー」はエレキギターを製造している30人くらいの会社で、木工の地場産業のありかたとして大変参考になりました。

委員長 斎藤 勲



▲栗東市の金勝幼稚園

議員の活動あれこれ

議員の視察研修活動を紹介致します。例年、常任委員会や一部事務組合などの視察研修が行われます。今何が大切か。優先性の高いと考えられる分野で、先進の市町村や施設を訪れ、今後の田上町に活かせる様研修してまいります。



加茂市・田上町 消防衛生組合 議会視察報告

10月29・30日宮城県仙台市の東北電力(株)本店を訪問し、東北電力の災害対策への取組みと本店建物の防災構造を視察研修しました。
災害発生後、1時間以内に災害対策本部会議を開始可能、関係部署への直通通信網を配備、大画面モニターにて各地との連絡会議が可能です。
耐震構造・自家発電はもちろん、エコ対策にも優れた設備でありました。



発電装置 ▶

三条地域水道用水 供給企業団 視察研修報告

11月18・19日山形県企業局置賜事務所を訪問し、置賜広域水道用水供給事業の概要と笹野浄水場の施設見学を致しました。
・水道用ダムの130mある高低差を利用して、水力発電機を設け、施設の電力を賄っている。
・既存の設備をうまく活用する事により、設備コストの削減。
このような有効活用により、基本料金的大幅削減を実現してまいりました。

佐渡市議会報編集 特別委員会の視察受入れ

11月13日佐渡市より8名の議会報編集特別委員会の方々が訪問されました。
色々な意見交換をする中から、いかに分かりやすく、読みやすく、議会の活動を伝えていくのか。大きな市であっても議会報によせる熱意、思いは、緒でした。



お知らせ

議会を傍聴してみませんか。
第1回定例会は、
3月4日(木)からの予定です。

編集後記

平成21年の冬は、暖冬・小雪予報が、12月定例会最終日を迎えた18日頃には、日本列島が大寒波に覆われ、新潟空港・JR各線が運休する大雪となり、あわただしい年の瀬を迎えました。

竹の幼稚園の建設工事も、4月に入園する園児の元気な姿を思いながら、順調に進んでおります。

田上町も政府の進めるCO₂削減施策で、学校や幼稚園などの公共施設に太陽光発電の研究など導入検討がなされるのではないかと、思います。

議会でも導入する事で町の発展に繋がると考え町長に具申、今年は大いに期待されるのではないのでしょうか。

(渡邊 記)

委員長 渡邊 正策
副委員長 中野 和美
委員 塚野 二三
委員 斎藤 勲
委員 泉田 壽一
委員 川口與志郎